

はるか

VOL.2

1999.2

特集 ▶ 「男女共同参画社会って？」

女性対策懇話会座長・中部大学教授
佐藤方代さんに聞く

いわゆる

「女の幸せ」が

「^{わたし}女性の幸せ」とは

限らないんじゃないかな。

幸せのカタチは人それぞれ。

大切なのは

「自分らしく生きる」ことだと思う。



特集

男女 共同参画社会って!?

女性対策懇話会座長 中部大学教授 佐藤方代さんにお聞きしました。

■男女共同参画社会とはどういうものですか?

●佐藤／男女があらゆる分野に平等に参画することですが、一口に平等に参画するといっても、人によってイメージは随分違うと思います。それは、ある時期までかなり固定化した理想の家庭のイメージ(お父さんが働いて、お母さんが家事をやる時間までもが決まってるというふうな)がありましたよね。でも、今では違った形の家庭もそれぞれが認め合えるようになってきたと思います。男女共同参画社会もこれと同じで、かなり多様化しているのが特徴だと思います。また、モデルを作って合わないものを排除するのではなく、どうしたらお互いによくなるかを一緒に考えて、それぞれを認め合える社会が男女共同参画社会だと思います。

■なぜ今、男女共同参画がさげばれているのでしょうか?

●佐藤／また、政策や方針決定の場は、ほとんど男性が占めていますよね。これでは意見も偏り、男性の視点が強く出たものにならないと思います。現在では、少子・高齢化・介護などが問題になっていますが、これらも女性の視点を生かしたほうがよりよいものになるだろうと思います。そこで、女性もあらゆる分野の方針・政策決定の場に、同等に参画することが必要になってき

ています。これからは、女性も異議を唱えるだけでなく、方針を展開する場に参画し、男性にも女性にもプラスになる方向で施策を進めていかなければならないと思います。

■ありがたうございました。

家事は午前中夫が 午後は妻が担当 子育ても2人で



●八事町2
古田弘樹さん
尚子さん

■こんにちは。早速ですが家事分担はどのようにされていますか?

●弘樹さん／僕は午後からの仕事で午前中は家事を担当、妻は午前中パートで午後家事をしています。僕が、おむつを洗ったり、料理を作ったりして子どもに食べさせたりもしているんですよ。

■どうして今のようないふスタイルにされたのですか?

●尚子さん／結婚したばかりのころは、2人ともフルタイムで働いていたんですよ。でも、夫は営業でノルマがきつく、ストレスもたまっ

てきて夫婦喧嘩もよくしていました。精神的にも落ちつかなかったのでも子どもを持つ気持ちにはなれませんでした。自分たちの仕事にも疑問を感じていたので、生活を見直そうということからだったと思います。

■以前から家事分担をしたいという考えでしたか?

●弘樹さん／いいえ、多くの男性が考えているように、お金を稼ぐことだけが男の仕事だと思っていました。業績を上げて認められたいと思っていて、今よりリッチになつてせたくをしたと、またそれが努めだと思っていました。でも「なんかへんだ」と常に思っていました。不自然なんですよ。自分が周りに合わせているという感じでもともと家事をやるのは好きだったの、いまでは家事も育児も僕の大切な仕事の1部だと思っています。

■古田さんには二人息子の太陽くんがみえますが、子どもさんとの関わり方はどうですか?

●ご夫妻／今がベストだと思っています。

●弘樹さん／僕の親は仕事が忙しくて子育てを楽しめなかったんですよ。もちろん親は親で大変だったと思いますが、親からは地位とか名誉とか人の評価してくれるものを追及していくのが生きる道だと言われてきましたが、子ども

は受け取り方が違うんですよ。僕は、ただありのままを認めて欲しかったんです。だから、子どもには「そのままでいいよ」というメッセージを伝えていきたいです。自分があるまま受け入れられるように。

■ライフスタイルを変えてよかった点を教えてください。

●弘樹さん／まず、子どもの出産に立ち会えたこと。以前なら時間的に無理でした。それと、夫婦で仕事や子育ての苦労を分かち合うことで、お互いの理解が深まりました。家族と過ごせる時間が増えたのが何よりよかったですね。

●尚子さん／気持ちにゆとりができて、今まで当たり前だと思っていたことを見直すことができた。

●弘樹さん／人にはいろいろな選択肢がありますよね。幸せの形は人それぞれ違うのですから。僕たちはこれからは、子どもの成長を見守りながら、協力していきたいと思っています。

協力!!



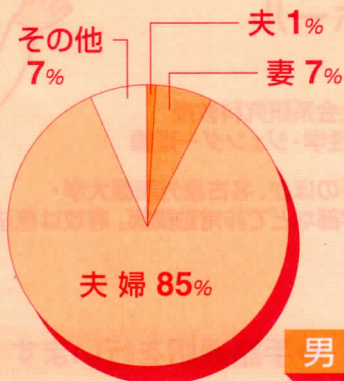
高校生 200人 に聞きました!!

家事・育児はだれの役目!?

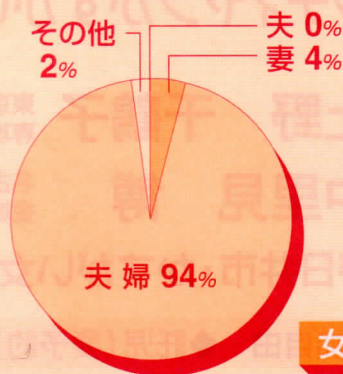
このアンケートは、高校1年生から3年生までの男女200人を対象に集計をまとめたもので、現代の高校生の声を聞いてみました。



Q:子育ては、だれの役目だと思いますか?



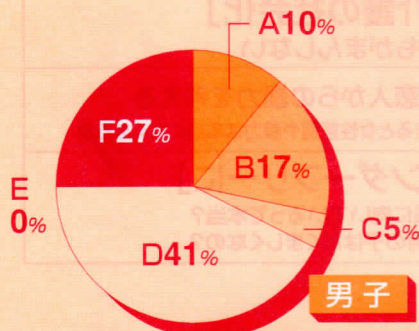
男子



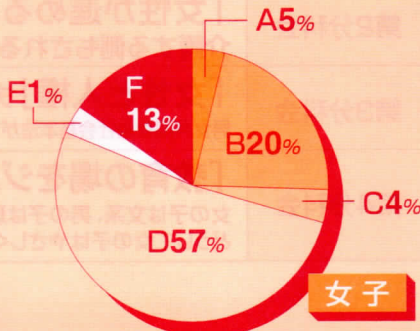
女子

高校生は、男女を問わず子育ては夫婦でと思っています。

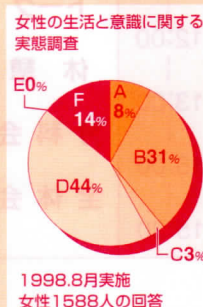
Q:家庭における男女の役割分担について、本来どうあるべきだと思いますか?



男子



女子



- A 男は仕事、女は家事・育児をする
- B 男は仕事、女は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする
- C 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担する
- D 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する
- E 女は仕事、男は家事・育児をする
- F その他



高校生はこうに思っています!!

高校生たちは、男女という性差にこだわらずに、仕事・家事・育児を分担し一人の人間として尊重し合う姿勢が同えます。また、アンケートの中で、将来の家事・育児についての考え方を聞きましたのでご紹介いたします。

- 男女問わず、仕事や育児をすることが必要になっていくと思う。(1年生男子)
- 男は仕事、女は家庭という考え方はよくない。分担してやればよいのでは。(1年生女子)
- 料理ぐらいは作ることができるようにしたいと思う。(2年生男子)
- 自分一人では絶対イヤ!夫が協力してくれるのがいい。夫以外の人の協力ではだめだと思う。(2年生女子)
- 育児休業を取りやすい社会になってほしいと思う。(2年生女子)
- 子どもは、両親の愛情を受けて育つことが一番だと思う。どちらかといえば母親が子どもと接する方が上手いくと思うから、母親が家にいるべきだと思う。(2年生女子)
- 男も女も仕事が忙しいときには、子どもを作るべきではない。作ってしまったならば、仕事を変えてもいいという覚悟がなければならない。(3年生男子)
- 男もあたり前のようにごはんを作ったりする。家で働かない男はだめ。(3年生女子)
- 女性が社会進出している今、もっと男性が家庭に進出するべきである。男女の役割分担は平等に。(3年生女子)

INFORMATION

第16回かすがい女性のつどい

テーマ 「ジェンダーと暴力」

日時 3月7日(日) 午前10時～午後3時30分

場所 レディヤンかすがい 多目的ホール

トーク 上野 千鶴子

東京大学大学院人文社会系研究科教授
専攻は家族社会学・女性学・ジェンダー理論

中里見 博

名古屋大学法学部助手のほか、名古屋外国語大学・
金城学院大学短期大学部などで非常勤講師。専攻は憲法

主催 春日井市・かすがい女性連盟

参加してください!!!



◆参加自由 ◆託児(要予約)・母子室有り ◆手話通訳を行います

日 程		分 科 会	
10:00	開 会 式	第1分科会	「女の経済的自立」21世紀専業主婦は生き残れるか
10:20	トーク	第2分科会	「女性が進める、介護の社会化」 介護する側もされる側もがまんしない
12:00	休 憩	第3分科会	「女性と人権」夫・恋人からの暴力を考える 男女共同参画社会基本法ができると女性差別や暴力は本当になくなるか
13:00	分 科 会	第4分科会	「教育の場をジェンダーフリーに」 女の子は文系、男の子は理系に向いているって本当? どうして女の子はやさしく、男の子はたくましくなの?
15:00	全 体 会		
15:30			

一人で悩んでいませんか?

カウンセラーがあなたの力になります。下記までご連絡を…。

■女性相談

相談場所	電 話	日 時	内 容
愛知県 婦人相談所	052 913-1101	午前9時～午後5時 休み/ 土・日・祝日・年末年始	夫婦間のトラブル、結婚、 男女問題、家庭内の不 和などについて
レディヤン かすがい	85-7871	毎週火曜日 午前10時～正午 午後1時～3時	



■育児相談

相談場所	電 話	日 時	内 容
レディヤン かすがい	85-7871	毎週木曜日 午後2時～4時	乳幼児の子育てに関する 諸問題について



■次号は10月に発行です

「はるかに」に対するご意見をの寄せください